



# 道祖土小 学校だより

校訓 明るく 仲よく たくましく  
5月号 令和7年4月30日発行

〒336-0907  
さいたま市緑区道祖土1-1-1  
電話 048-885-2512  
FAX 048-811-1328  
Web <http://saido-e.saitama-city.ed.jp>  
E-Mail [saido-e@saitama-city.ed.jp](mailto:saido-e@saitama-city.ed.jp)

## 「誇りに思う」

校長 荒木 大輔

自然界が、綺麗な色に包まれる季節となりました。本校でもたくさんの花々と新緑の美しさが、子どもたちに彩を与えています。中でも「緑区の木」に指定されているハナミズキの花が本校でも見頃を迎えており、薫風に優しく揺れながら、「今日も、頑張っているね。」と子どもたちが楽しく学習している姿を、笑顔で見守ってくれています。GWを含めた5月中は、さいたま市でも、春到来に触れるたくさんの催しがあります。是非、自然の息吹を思いっきり深呼吸して、心と体をリフレッシュしてみたいはいかがでしょうか。



さて、御案内のとおり、令和3年からさいたま市は、本市誕生20周年を記念して、5月1日を「さいたま市民の日」と制定しました。そして、今年で全国13番目の指定都市に移行してから、22年を迎えます。各企業等が行う調査によれば、ここ数年のさいたま市に関する評価は高く、「幸福度ランキング」や「住みたい街ランキング」では常に上位に位置しており、多くの人々から人気のある自治体として認知されています。また、昨年度の「さいたま市民意識調査」においても、「さいたま市は住みやすい」と思う市民の割合が86.4%と高い数値を示し、同様に「さいたま市に住み続けたい」が87.2%で、過去最高の値を記録したそうです。

市外の人だけでなく、市民からの評価も高い本市ですが、どこにその魅力があるのでしょうか。理由はたくさんありますが、その一つに「学校教育に力を入れている」ことが、挙げられると思います。教育を支えるハード的な側面（例えば、「特別支援学級が、全校に設置されている」、「教職員と子どもたちを支えるスクールアシスタントが、各校複数人体制で勤務する」、「給食だけでなく食育を司る栄養教諭〔または学校栄養職員〕や図書室の環境整備と図書指導をする学校図書館司書、学校と地域との連携強化に尽力する学校地域連携コーディネーターが全校に配置されている」、「スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが毎月複数回、学校を訪問する」など）は、埼玉県内外においても潤沢に整備されていますが、何より学校教育の要である「学習指導」に力を注ぎ、学校内外で教職員同士が切磋琢磨し合える環境や研修が整っているところが、私は本市の特色だと思っています。

実際に、さいたま市で教鞭を執り続けてきた私は、「どうしたら、質の高い学習指導ができるか」、「何をどのように工夫すれば、子どもたちにとって理解の進む、楽しい授業になるのか」ということばかり日々考え、それを実践し、教育委員会の指導主事や多くの優秀な先輩方から、たくさんの指導を受けてきました。勿論、全国の小学校に勤務する先生方も、同様であることに違いはありません。ただ、小学校6年生を対象に行われる全国学力・学習状況調査の結果において、本市の子どもたちが全国の平均正答率を上回り、20ある指定都市の中でも常にトップレベルを維持している事実を、さいたま市民ではない私は、とても誇りに思っています。

本校の教職員は、私の担任時代を超える、学習指導に力を注ぐ集団です。その教職員とともに、本校で教育活動に携わっていることに対し、そして、毎日真剣に学習に取り組む道祖土小学校の子どもたちのことを、私は常に誇りに思っています。今年度も、さいたま市の学校に相應しく、保護者や地域の皆様から誇りに思える学校となれるよう、職員一丸となって、学習指導の充実に努めてまいります。